

牛乳への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

皆さんは日本でいつごろから牛乳が飲まれているかご存知でしょうか？意外にその歴史は古く、飛鳥時代の「大化の改新」のころ、百濟から来た帰化人が、孝徳天皇に牛乳を献上したのが始まりと言われています。そこで、今回は水戸黄門も毎日飲んだと言い伝えられる牛乳への支出について見てみましょう。

牛乳への支出額は5年前の1割減

まず、1人当たりの年間支出金額を見てみると、平成17年は5,950円で、5年前（6,655円）に比べて約1割減少しています。また、食料に対する割合で見ても5年前に比べて縮小しています（図1）。

高齢者世帯は高価格の牛乳を購入

次に、平成17年について世帯主の年齢階級別に1世帯当たりの平均購入価格を見ると、世帯主の年齢が高い世帯ほど購入価格が高くなっており、29歳以下の世帯に対して70歳以上の世帯は約3割高い牛乳を購入しています（図2）。

関東の購入数量は沖縄の1.4倍

最後に、平成17年について地方別に1人当たりの購入数量を全国平均を100として指数化して見ると、関東、近畿、東北、東海で全国平均を上回っており、最も購入数量の多い関東では、最も少ない沖縄に比べて1.4倍となっています（図3）。

ここでは、生乳以外の原料を加えない「牛乳」のほか、脱脂粉乳などの乳製品を加えた「加工乳」（低脂肪牛乳・無脂肪牛乳など）を含めていますが、乳製品以外の成分を加えた「乳飲料」（コーヒー牛乳・ビタミン牛乳・いちご牛乳など）は除いています。

図1 牛乳の年間支出金額と食料に対する割合

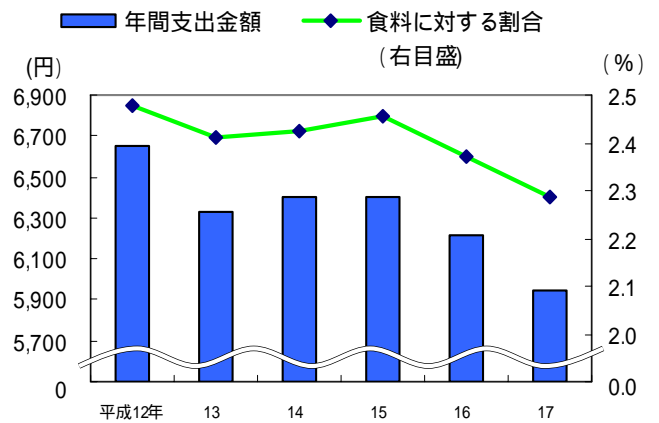


図2 世帯主の年齢階級別に見る牛乳の平均購入価格 (平成17年)

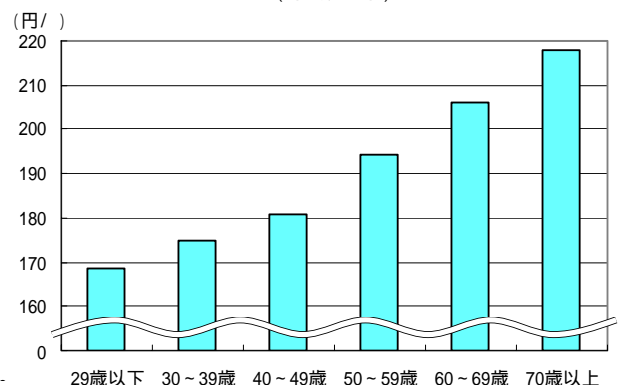


図3 牛乳の地方別購入数量指数(平成17年) (全国平均 = 100)

